

# 東北 VALUE SIGHT 山形



山形市長  
**佐藤 孝弘** (さとう・たかひろ)

1975年 函館市生まれ  
2000年 東京大学法学部卒業、同年通商産業省（現経産省）入省  
2003年 同省を退官し起業  
2005年 日本経営合理化協会勤務  
2007年 公益財団法人東京財団研究員  
2011年 山形市長選に立候補し、次点  
2015年 第18代山形市長に就任

山形市役所  
山形市旅籠町二丁目3番25号  
TEL 023-641-1212  
URL <http://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp/>

- 2017年10月、山形市のユネスコ創造都市ネットワークへの加盟が認定された。日本国内では通算8都市目、映画分野では初の認定となった。
- 昨年で15回目の開催となった「山形国際ドキュメンタリー映画祭」をはじめ、「山形フィルム・コミッション」による映像作品の誘致や地元大学で行われている映像教育など、山形市には映像文化が強く根付いている。このような文化芸術活動の盛り上がりの魅力あるまちづくりへとつながっていく。

## ユネスコ創造都市ネットワーク加盟について

創造都市という言葉聞きなれない方もまだ多いのではないと思う。これは、地域を持続可能なものとするため、地域に存在する特色ある地域資産や文化芸術活動をベースに、まちを活性化しようという取り組みである。

グローバル化の進展により、固有文化の消失が危惧される中、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）は、文化の多様性を保持するとともに、世界各地の文化産業が潜在的に有している可能性を、都市間の戦略的連携により最大限に発揮させる枠組みが必要であるとして、2004年からユネスコ創造都市ネットワーク事業を開始し、7分野（映画、食文化、音楽、文学、クラフト&フォークアート、デザイン、メディアアート）において、世界で特徴ある都市を認定している。

山形市は、昨年6月にユネスコ創造都市ネットワークの映画分野での加盟申請を行った。このたびの申請は2度目となったわけだが、前回認定に至らなかった原因をしっかりと分析し、また、私自らパリ・ユネスコ本部に出向き、関係者と直接情報交換を行い、それらの内容を反映させ、申請を行ったものである。

そして、昨年10月31日（パリ現地時間）、山形市はユネスコ創造都市ネットワークへの加盟が認定され

## ユネスコ創造都市ネットワーク加盟認定 ～映像文化創造都市やまがた～



た。ネットワーク加盟の認定は、日本国内では8都市目となり、映画分野では初の認定となった。

### 山形市の多種多様な文化について

まずは、申請分野である山形市の映像文化について述べてみたい。山形市制施行100周年記念事業として1989年にスタートした「山形国際ドキュメンタリー映画祭」は、隔年で開催しており、昨年で15回目の開催となった。国内はもとより、海外でも高い評価を得ており、国内外からの参加者が2万人を超える映画祭へと成長を遂げている。そして、全世界から集積されたドキュメンタリーフィルム約1万5千本が収蔵されているフィルムライブラリーには、世界の「今」を写す貴重な資料を求め、国内外の映画人や研究者が訪れている。

また、「山形フィルム・コミッション」は、映像作品の誘致や撮影支援を通し、観光の振興や地域の活性化に大きく貢献している。最近では「3月のライオン」といった話題作や海外作品の誘致にも成功している。

さらに、昨年で13回目の開催となった「山形国際ムービーフェスティバル」は、若手の映像制作者に

制作と上映のチャンスを与える場となっているほか、「東北芸術工科大学」や「山形大学」では、映像についての教育が施されているなど、山形市の映像文化を育む環境は大変充実している。

このほかにも、山形市には素晴らしい多種多様な文化芸術がある。このたびの認定は、映像文化の評価だけではなく、他の分野、例えば「山形鋳物」や「山形打刃物」に代表される伝統工芸や「いも煮」など特色のある食文化、プロオーケストラの山形交響楽団に代表される音楽活動、東北芸術工科大学が核となるアート・デザイン、地域に根付いた茶道や華道文化など、さまざまな文化芸術活動があること、そして、それらを活用したこれからのまちづくりの可能性が高く評価されたものであると考えている。

### 今後に向けて

今回のユネスコ創造都市ネットワークへの加盟認定は、決してゴールではなく、未来の山形市を築いていくスタートラインによりやく立ったものであり、これから、山形市独自の取り組みや他のネットワーク加盟都市との交流事業などを戦略的に展開していく必要があると考えている。

山形県内では、鶴岡市が先に食文化でユネスコ創造都市ネットワークに加盟しているが、国内で同じ県に2つの認定都市が存在するのは、兵庫県と山形県のみである。

山形市にも古くから特色ある食文化があり、鶴岡市も映画撮影が盛んに行われているなど、映像文化が根付いている。両市には、古くから文化芸術活動が育まれる環境が整っており、食や映画以外にも多種多様な文化芸術や地域資産があるため、「山形市」「鶴岡市」というそれぞれ単体としてではなく、両市が連携して活動していくことでスケールメリットが

生まれ、事業展開やPRに厚みが増し、観光や産業の振興につなげていけるものと期待している。

創造都市は、市民一人一人が主体的に、そして創造的に活動していくものであるため、この創造都市の取り組みは、行政だけではなく、市民や事業者などと一体となり進めていかなければならないと考えている。

今後は、映像文化を基軸とし、多彩で豊富な文化資産、さらには自然・歴史などを含めた地域資産を連動させるとともに、ネットワーク加盟都市などとの交流を交えながら、山形市の文化芸術活動をさらに盛り上げていき、魅力ある山形市のまちづくりに取り組んでまいりたい。



加盟認定記者会見



ユネスコ本部でのアピール（2016）

### 現在の認定数180都市（うち、64都市が今回認定）

日本国内  
デザイン : 神戸市(2008)、名古屋市(2008)  
クラフト&フォークアート : 金沢市(2009)、篠山市(2015)  
メディアアート : 札幌市(2013)  
音楽 : 浜松市(2014)  
食文化 : 鶴岡市(2014)  
映画 : 山形市(2017)

映画分野 : ブラッドフォード(イギリス)、シドニー(オーストラリア)、釜山(韓国)、ゴールウェイ(アイルランド)、ソフィア(ブルガリア)、ビトラ(マケドニア)、ローマ(イタリア)、サントス(ブラジル)  
今回認定都市 → 山形市、ブリストル(イギリス)、ウッチ(ポーランド)、青島(中国)、テラッサ(スペイン)